

塗装仕様書 (耐(重)塩害対応)

◆適用: この仕様書は、塩害地域に空冷ヒートポンプチラー・空冷冷房専用チラーを据え付ける場合に適用します。

1. 適用機種

- A) 耐塩害仕様 : CA(H)V-MP1180,1500,1800,2000(V)B(-P/-N)-BS
 B) 耐重塩害仕様 : CA(H)V-MP1180,1500,1800,2000(V)B(-P/-N)-BSG

2. 適用環境

- A) 耐塩害仕様 : 潮風には当たらないがその雰囲気にあるような場所。
 ■具体的には ①雨で洗われる場所。
 ②潮風の当たらないところ。
 ③設置場所から海までの距離が約300mを超え1km以内。
 ④建物の影になる場所。
- B) 耐重塩害仕様 : 潮風の影響を受ける場所。ただし、塩分を含んだ水が直接機器にはかからないものとする。
 ■具体的には ①雨があまりかからない場所。
 ②潮風が直接当たるところ。
 ③設置場所から海までの距離が約300m以内。
 ④建物の表(海岸面)になる場所。
 ⑤設置場所のトタン屋根、ベランダの鉄製部の塗り替えが多い場所。

●海岸からの設置距離目安(設置環境により条件が変わります。)

(1)直接潮風が当たるところ	設置距離目安			備考
	300m	500m	1km	
①内海に面する地域	耐重塩害	耐塩害	耐塩害	瀬戸内海
②外洋に面する地域	耐重塩害	耐重塩害	耐塩害	
③沖縄、離島	耐重塩害			

(2)直接潮風が当たらないところ	設置距離目安			備考
	300m	500m	1km	
①内海に面する地域	耐塩害	耐塩害	耐塩害	瀬戸内海
②外洋に面する地域	耐重塩害	耐重塩害	耐塩害	
③沖縄、離島	耐重塩害			

◆留意事項

耐塩害・耐重塩害仕様品を使用した場合でも腐食・発錆に対して万全でなく、ユニット設置やメンテナンスに対し、次の事項に留意願います。

- 海水飛沫に直接さらされる場所に設置しないでください。
- 外装パネルに付着した塩分等の雨水による洗浄効果を損なわないように、日除け等は取り付けしないでください。
- ユニットベース内の水の滞留は著しく腐食作用を促進させるため、ベース内の水抜け性を損なわないように水平に据付けてください。
- 特に、海岸地帯への据付品については、付着した塩分等を除去するために定期的に水洗いを行ってください。
- 据付時・メンテナンス時に付いた傷は、補修をしてください。
- 機器の状態を定期的に点検してください。(必要に応じて再防錆処理や、部品交換等を実施してください。)

◆一覧

番号	部品名	素材	標準	耐塩害		表面処理・部品仕様
				標準	耐重塩害	
			(膜厚: μm)			
1	ベルマウス	ポリプロピレン樹脂	○	○	○	-
2	外装パネル	合金化溶融亜鉛めっき鋼板	○	○	○	標準塗装仕様基準(意匠面のみ塗装) ポリエステル粉体塗装(1C1B:両面) ※1
			30	70	70	
3	送風機	羽	○	○	○	-
		モータ	○	○	○	-
		モータ支持枠	○	○	○	-
4	送風機台	溶融亜鉛めっき鋼板	○	○	○	ポリエステル粉体塗装(1C1B:両面) ※1
		合金化溶融亜鉛めっき鋼板	-	70	70	
5	空気熱交換器	フィン	○	○	○	亜鉛添加
		枠	○	○	○	
6	ドレン板(機械室、送風機室)	合金化溶融亜鉛めっき鋼板	○	○	○	ポリエステル粉体塗装(1C1B:両面) ※1
7	台枠	合金化溶融亜鉛めっき鋼板	○	○	○	ポリエステル粉体塗装(1C1B:両面) ※1
			70	70	70	
8	圧縮機	SB410E、SPV315、SM400B	○	○	○	エポキシ樹脂
9	機械室柱・支持枠	合金化溶融亜鉛めっき鋼板	○	○	○	標準塗装仕様基準(意匠面のみ塗装) ポリエステル粉体塗装(1C1B:両面) ※1
			30	70	70	
10	水熱交換器(プレート式)	SUS316を鋼箔にて真空ロー付け	○	○	○	-
11	水配管	SUS304	○	○	○	-
12	制御箱・プレーカ箱	溶融亜鉛めっき鋼板	○	○	○	-
13	冷媒タンク(CAHV形のみ)	圧力配管用炭素鋼鋼管及びSPV315	○	○	○	フェノール変性アルキド樹脂浸漬 エポキシ樹脂プライマー2回塗り、ホリウレタン樹脂1回塗り
			30	70	70	
14	アキュムレータ	圧力配管用炭素鋼鋼管及びSB410	○	○	○	フェノール変性アルキド樹脂浸漬 エポキシ樹脂プライマー2回塗り、ホリウレタン樹脂1回塗り
			30	70	70	
15	冷媒配管	りん脱酸鋼	○	○	○	-
16	配管用支持金(機械室)	合金化溶融亜鉛めっき鋼板	○	○	○	標準塗装仕様基準(両面塗装) ポリエステル粉体塗装(1C2B:両面)
			30	30	30	
17	配管用支持金(送風機室)	合金化溶融亜鉛めっき鋼板	○	○	○	ポリエステル粉体塗装(1C2B:両面)
			70	70	70	
17	配管締付金物	溶融亜鉛めっき鋼板	○	○	○	ポリエステル粉体塗装(1C2B:両面)
			-	70	70	
18	フィン保護網(オプション)	鉄線、ポリエチレンコーティング	○	○	○	-
19	ボルト・ナット・ネジ	①ステンレス製	○	○	○	-
		②鉄製(亜鉛メッキ有 colorfulクロメート)	○	○	○	
		③鉄製(ジンクロイ+ジオメット処理)	○	○	○	

- ※1. その他の部品仕様は標準と同じです。
 ※2. JRA耐塩害仕様基準、JRA耐重塩害仕様基準に適合
 ※3. 仕様は製品改良の為予告なしに変更する場合があります。

◆準拠基準:「空調機器の耐塩害試験基準(JRA9002-1991)」: JRA(社団法人日本冷凍空調工業会)制定